

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1195300148		
法人名	社会福祉法人愛誠会		
事業所名	愛誠ホーム北本中丸		
所在地	埼玉県北本市中丸10-434-1		
自己評価作成日	令和6年1月10日	評価結果市町村受理日	令和6年4月19日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/11/index.php">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/11/index.php</a>
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 ケアマネージメントサポートセンター		
所在地	埼玉県さいたま市中央区下落合五丁目10番5号		
訪問調査日	令和6年2月21日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事を手作りして調理している点、畑や地域で採れた野菜やお米を使用している点</li> <li>・常勤の看護師を配置しており、医療行為のある入居者や看取りにも対応できる点</li> <li>・介護保険外利用料を安く、入居金0円、おむつ代金も徴収しないなど、入居費用をリーズナブルにしている点</li> </ul>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・アットホームで快適な環境のもと、利用者一人ひとりの思いとその人らしさを大切に、明るく楽しく過ごされるようチームケアに取り組まれている。また、職員手作りの温かく美味しい家庭料理が提供されている。</li> <li>・複数の常勤看護師の確保、医療機関との連携体制の整備のほか、重度化や終末期支援の研修にも取り組み、医療行為の必要な利用者の受け入れをされ、利用者・家族の健康で安心・安全な暮らしに結び付けられている。</li> <li>・運営推進会議では、利用者の暮らしぶりや活動報告のほか、事業所の取り組みについての意見やアドバイス、地域情報の提供を頂くなど、幅広い内容での意見交換が行われ、有意義な会議運営がされている。</li> <li>・災害対策では、火災発生を想定し初期消火・通報・避難誘導訓練に取り組まれている。また、食料・器材などの備蓄品の整備など、体制整備に努められている。</li> </ul>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・業務に追われてしまい職員と理念を共有する時間も少なく、なかなか思いが伝わっていないので、今後会議等できちんと理念を伝えていきたい。	「奉仕のころを柱に福祉の世界にあたたかい風を」という理念のもと、利用者一人ひとりの思いを大切に、明るく楽しんで過ごされるようチームケアに取り組まれている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・運営推進会議に民生委員と自治会長に参加して頂いているので、地域の行事など情報は頂けるがコロナもあり、交流まではいっていない。 ・土地の大家さんの作ったお米を購入して地産地消のお米を入居者様に提供している。	クリーン活動など地域イベントへの参加や地域資源の活用のほか、ボランティアとの交流など、利用者が地域とつながりながら暮らせるよう基盤づくりに努められている。	利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる為の基盤づくりはなされています。地域住民の理解は十分とはいえず、事業所特性についての理解と交流の機会を深める取り組みに期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	・職員に外部から講師を招き講習や認知症の研修に参加は行っているが、地域の方に貢献出来るまでは至っていない。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・運営推進会議で反省点や改善点は報告し話し合いを行っている。	運営推進会議では、事業所からの利用者の暮らしぶりや活動報告のほか、事業所の取り組みについての意見やアドバイス、地域の情報提供など、幅広い内容での意見交換が行われ、有意義な会議運営をされている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	・北本市主催の定期的な会議や、運営推進会議には北本市の職員に参加頂き情報交換を行っている。	報告・連絡・相談時などでコミュニケーションを図られるほか、感染症対策の情報提供など、良好な連携関係を築かれている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・身体拘束委員会を定期的開催し理解を深めるようにしている。	身体拘束廃止委員会が定期的に行われている。その機会に拘束に関する学びの時間をもち、身体拘束の内容とその弊害を確認、言葉での拘束を含め、行動抑制をしないケアを実践されている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・虐待防止委員会を定期的開催し理解を深めるようにしている。		

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・行政書士の方に後見人制度等について説明をしてもらう機会を開設時に実施。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・行っております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・運営推進会議には家族の参加も依頼しており、実際に参加頂いております。	利用者とは日常の関わりの中で話を聴き取り、適宜対応されている。家族とは面会時や運営推進会議の際に意見・要望を聴き取られている。その意見や要望は職員間で話し合い、サービスや運営に活かされている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・グループホーム会議を毎月行っており、議題に関して、職員から意見を聞くようにして、会議にあげて話すようにしている。	定例会議などで意見・提案を聴き取られるほか、発言しやすい職場環境が作られ、レクリエーション企画や個別ケア対策など、具現化されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・人事考課表に目標を記載し評価することで、やりがいなど向上心を持って働けるように努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・今年度は認知症専門看護師に認知症について、看取りに関して他施設で看取りを行っている施設長に講義頂き、職員の知識を深める。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・開設時に他グループホームの見学をさせて頂く。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・実調、契約時に本人・家族に確認している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・実調、契約時に本人・家族に確認している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・実調、契約時に本人・家族に確認している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・家事全般を一緒に可能な限り行ってもらうようにしております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・部屋毎に居室担当を配置して、本人の状況や日用品など足りないものを家族に連絡を取ってもらっている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・具体的にどのように取り組んでいくかは検討中。	コロナ禍での自粛で限定されるが、知人・親族の面会、スーパーでの買い物や外食、教会に出かけられるなど、これまでの関係が途切れないよう支援をされている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・入居者が仲良くなれるように、一緒にレクなどで交流を取ることや、会話の中で話し合えるような環境に努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・現時点では退居された方へのフォローは出来ておりません。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・本人が話せる人は本人に思いや意向は聞き取り、難しい方には家族に入居した際、状態が変わった際に聞き取りしている。	利用者一人ひとりに寄り添い、声かけを行うことで、思いや意向を把握されている。把握の難しい利用者についても、非言語コミュニケーションを大切に、仕草や表情から汲み取られるほか、家族からの情報提供を頂き、利用者本位に検討をされている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・入居時やユニットケア会議の際に情報共有するように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・入居時やユニットケア会議の際に情報共有するように努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・入居時やユニットケア会議の際に情報共有するように努めている。	利用者・家族から思いや意向を聴き取り、医師・看護師からの指示を含め、カンファレンスを基にモニタリングを行い、全職員の意見を活かしその人らしさを大切に、現状に即した介護計画が作成されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・入居時やユニットケア会議の際に情報共有するように努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・入居時やユニットケア会議の際に情報共有するように努めている。		

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・今後この点についても取り組んでいこう努めます。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・24時間対応の施設の協力医療機関に定期的に医療を受けてもらうようにしている。	入居時に利用者や家族の希望を尊重し、医療機関の選択をさせていただいている。専門医等かかりつけ医の受診は家族対応を基本とし、必要な情報提供を行い、適切な診療が行なえるよう支援をされている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・常勤の看護師2名、パートの看護師2名に相談し介護・看護の連携を取るとともに、入居者の情報を協力医療機関の医師や看護師にも申し送るようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・協力医療機関として2つの病院と提携しており、今後は病院とさらなる連携のために定期的に入居者の情報を共有する会議も行うよう依頼していきたい。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・重度化の指針は入居時に説明し同意は得ている。終末期に関しては状態を考えて必要な場合に協力医療機関の医師や本人・家族も含めて同意を得てから、取り組むようにしている。	利用者の症状に合わせ、重度化・終末期についての話し合いが持たれ、利用者・家族と意思統一を図られている。その後も意思の確認を進めながら、医師・看護師と連携のもと、重度化や終末期支援に取り組まれている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・消防訓練の際に内容を確認し訓練を実施している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・避難場所が道挟んで反対側で近くなこともあり避難はできると考えているが、地域との協力体制までは確立していない。	定期訓練では火災発生を想定し、初期消火・通報・避難誘導訓練に取り組まれている。また、食料・器材などの備蓄品の整備など、体制整備に努められている。	災害対策は十分取り組まれています。高齢者を預かる事業所として、訓練を重ねて課題を見つけ解決するなど、組織対応力の維持向上に向けた継続的な取り組みに期待します。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・対応を心がけてケアをしています。	支援時の事前の声掛け、入浴支援の際の同性介助など、利用者の人格を尊重し、誇りやプライバシーを損なわぬよう気遣いを持つなど、きめ細かな対応が取られている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・自己決定できるように、お伺いをたてたり、選んでもらうようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・職員の業務効率を優先しがちになるが、入居者様の希望にそって支援するように指導し実行するように心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	・理美容で髪型を変えたり、服装や化粧等は本人の希望で出来るように支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	・食事は手作りで、畑で採れた野菜や、地域の方がつくったお米を食べてもらうように食事を楽しんでもらっている。	利用者の力に合わせて、食後の準備や後片付けなど、職員と共に行っている。誕生会では利用者の希望に添い、ロコモコ丼が提供されるほか、ファーストフード店のハンバーガーセットやおやつ作りを楽しまれるなど、食の楽しみを大切にした支援に取り組まれている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・適した量を摂取頂けるように支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・行っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	・おむつを減らすように排泄支援を行っている。	一人ひとりの力や排泄パターン・習慣を把握して、適宜、声かけを行なうほか、利用者個々に事前誘導を心掛けるなど、きめ細かなケアをされ、失敗防止やオムツ類の使用量削減に努められている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・そこまで取り組めていません。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	・曜日や時間帯を決めて行ってしまっています。	週2回の入浴を基本とし、利用者の状況や希望に応じて柔軟に対応されている。一部の利用者は機械浴となるが、皆さん浴槽にゆっくり浸かり入浴を楽しまれている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・現状、朝・昼・夕に忘れずに薬を服薬してもらうように支援しているが、薬の目的や、副作用等まで理解している職員は少ないと思います。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・毎月レクや日々の散歩などは行っているが、日々を喜びのあるように過ごせるように工夫が出来ていると言われると出来ていない部分が多い。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	・コロナも落ち着いてきたため、家族の協力も得てみんなで屋外に出かけるような企画をしたいと考えています。	現状、外出は自粛しており、事業所周辺での散歩に出かけたり、さつま芋掘りやドライブを楽しまれるほか、大型商業施設や100円ショップに出かけられるなど、利用者の希望を大切に支援に取り組まれている。	

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・支援できておりません。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・電話は出来る方はご自身で行っております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・季節感が出るように工作物を入居者様と作成したりしている。	キッチン併設リビングで、明るく快適に過ごせる共用空間となっている。節分祭やひな祭りなど、季節感ある装飾がなされ、利用者が気持ちよくゆっくり過ごせるよう工夫をされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・仲良い人同士で近くの席にするように配慮しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・本人の好きなよう生活して頂けるようにしております。	家族の写真や仏壇、馴染みの家具などが持ち込まれ、利用者が落ち着いて過ごされるよう工夫をされている。また、毎日掃除の時間が設けられ、共用スペースを含め清潔維持と衛生管理に努められている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・工夫まで言えるかわかりませんが、自立した生活が送れるようにしております。		

(別紙4(2))

事業所名: 愛誠ホーム北本中丸

## 目標達成計画

作成日: 令和6年4月12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあいの交流を深めるまで至らない。	近隣に公民館や小学校もあるため、地域のイベントへの参加や、ボランティアの交流など取り組んでいきたい。	公民館や小学校の行事等に施設として出し物の出店等、施設側から積極的にアプローチしていくよう努める。	6ヶ月
2	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映として運営会議で入居者様の家族にも参加頂いているが、会議以外でも家族からの意見を聞けるような体制を整えたい。	コロナで家族の面会も制限していたが、今後は面会も解除していくことで、家族が施設に来る機会も増えるため情報交換するなど、接する機会を増やしたい。	家族が施設を訪れた際に、施設の取り組みや入居者様の普段の様子を伝える。また、外出レクなどで家族も同伴の企画をするなど、家族と接する機会も作り、普段から気軽に意見交換できる場を作っていく。	3ヶ月
3	48	役割・楽しみごとの支援として、外出などコロナが流行していたこともあり出来なかった。	季節ごとのレクやコロナも落ち着いてきたので、入居者様が家族との外出と外泊や、施設職員と外出するなど企画していきたい。	4月は桜で有名な城ヶ谷堤の桜を見に行くなど、近隣の観光スポットなど外出などの企画や、夏もしくは秋祭りなど施設内でも家族を含めたレクを行う。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。